

奈良県 保健医療計画(医師確保計画)の  
進捗状況の評価について

## 第8次奈良県保健医療計画 ～第2節 計画の評価と進行管理について～

### 保健医療計画(医師確保計画)の進捗状況の評価

○保健医療計画(医師確保計画)について、計画の進捗状況の評価を毎年度行い、各疾病・事業ごとの協議会及び奈良県医療審議会へ報告することとする。

## 目標に対する達成状況の整理と評価、今後の方針

### ①目標医師数

#### (1)目標に対する達成状況の整理と評価

策定時		評価	
ベースライン (R2調査)	目標値	現状値 (R6調査)	評価
3,670人	3,682人	3,787人	向上

#### (2)今後の方針

向上しており目標を達成している。  
目標医師数は達成しているが、特定の診療科や地域に勤務する医師は依然として不足しているため、引き続き必要な医師の確保に向けた取組を継続していく。

### ②時間外労働月80時間（年960時間）以上となる病院勤務医師数

#### (1)目標に対する達成状況の整理と評価

策定時		評価	
ベースライン (R4調査)	目標値	現状値 (R6調査)	評価
203人	減少	165人	向上

#### (2)今後の方針

基準を超える時間外労働は減少している。  
各病院での時短計画策定や勤務体制の見直し等や、県による医師の労働時間短縮に向けた取り組みに対する支援等により、時間外労働が年960時間以上となる病院勤務医師数が減少した。今後も継続して、医師の時間外労働の短縮や働きやすい環境づくりに取り組む病院に対する支援を実施していく。

# 目標に対する達成状況の整理と評価、今後の方針

## ③ 「産婦人科、産科」や「外科」等の医師の増加

### (1) 目標に対する達成状況の整理と評価

策定時		評価	
ベースライン (R2調査)	目標値	現状値 (R6調査)	評価
厚労省医師・歯科医師・薬剤師調査医師数 (対10万人) ・産婦人科・産科114人 (45.3) ・小児科173人 (111.7) ・麻酔科107人 (8.1) ・救急科59人 (4.5) ・外科系267人 (20.1) ・脳神経外科83人 (6.3)	増加	厚労省医師・歯科医師・薬剤師調査医師数 (対10万人) ・産婦人科・産科111人 (48.7) ・小児科193人 (135.9) ・麻酔科106人 (8.2) ・救急科37人 (3.1) ・外科系244人 (19.0) ・脳神経外科86人 (6.7)	向上

(参考) ・集中治療科26人 (2.0)  
 ※R4年調査より、「従事する診療科名等」に集中治療科が追加

### (2) 今後の方針

概ね増加で推移している。  
 R6年度の医師数はR2年度と比較し、小児科、脳神経外科は増加、産婦人科・産科、救急科、麻酔科、外科は減少。なお、外科系及び救急科以外の診療科は、10万人あたりの医師数は増加している。  
 奨学資金制度の活用等による取り組みは、医師不足の診療科医師数維持や増加に寄与しており、今後も引き続き診療科偏在の解消や必要とする診療科の医師確保のため継続していく。

# 目標に対する達成状況の整理と評価、今後の方針

## ④ー①幅広い領域の症例を経験できるキャリア形成プログラムの提供

(1)目標に対する達成状況の整理と評価

策定時		評価	
ベースライン (R5調査)	目標値	現状値 (R7調査)	評価
総合診療科専門研修 プログラム数：6	増加	総合診療科専門研修 プログラム数：6	横ばい

(2)今後の方針

横ばいで推移している。  
 ちなみに、募集人数に関してはR5年度22名からR7年度24名と募集人数は増加しており、指導・育成体制は向上しつつある。  
 令和7年度には学生や臨床研修医向けへの総合診療科の魅力を発信する講演会(第1回総合診療キャリアフォーラム)の実施や、奈良県の専門研修プログラムをまとめたガイドブックを作成し、学生や臨床研修医に配布することで、高齢患者の増加にも対応した幅広い診療能力を持つ総合診療医の確保に努めると共に、必要なプログラム数及び募集人数を維持していく。

## ④ー②総合診療科を選択する専攻医数の増加

(1)目標に対する達成状況の整理と評価

策定時		評価	
ベースライン (R5調査)	目標値	現状値 (R7調査)	評価
総合診療科専攻医採用数 10名	増加	総合診療科専攻医採用数 6名	低下

(2)今後の方針

低下している。  
 高齢化の進展により複数の疾患の医学的管理を必要とする高齢者が在宅医療の現場を含め増加していることから、こうした医療需要の変化に対応する幅広い診療能力を持った「総合診療医」の養成・確保を引き続き進めていく。  
 令和7年度には学生や臨床研修医向けへの総合診療科の魅力を発信する講演会(第1回総合診療キャリアフォーラム)の実施や、奈良県の専門研修プログラムをまとめたガイドブックを作成し、学生や臨床研修医に配布することで、総合診療医の確保に努めている。

# 目標に対する達成状況の整理と評価、今後の方針

## ④一③在宅療養支援診療所・在宅療養支援病院数の増加

### (1)目標に対する達成状況の整理と評価

策定時		評価	
ベースライン（R5調査）	目標値	現状値（R7調査）	評価
在宅療養診療所178施設、在宅療養支援病院22施設	増加	在宅療養診療所201施設、在宅療養支援病院22施設	向上

### (2)今後の方針

概ね増加している。

在宅医療を実施する医師を増やすために、奈良県医師会と連携して在宅医療参入を検討している医師や在宅医療に関心のある医師の後押しを行うことを目的とした「在宅医療基礎研修」を実施した。

引き続きこうした取り組みにより、医療機関の在宅医療への参入促進に努める。

## 目標に対する達成状況の整理と評価、今後の方針

### ⑤へき地診療所への適正な医師配置

#### (1)目標に対する達成状況の整理と評価

策定時		評価	
ベースライン（R5調査）	目標値	現状値（R7調査）	評価
県内へき地診療所16ヵ所の医師は確保できている。 ・自治医科大学卒業医師派遣11ヵ所（9名） ・ドクターバンクによる紹介医師2ヵ所（2名） ・村独自確保3ヵ所（3名）	維持	県内へき地診療所16ヵ所の医師は確保できている。 ・自治医科大学卒業医師派遣6ヵ所（6名） ・ドクターバンクによる紹介医師3ヵ所（2名） ・村独自確保5ヵ所（5名） ・へき地医療拠点病院等によるグループ診療2ヵ所	横ばい

#### (2)今後の方針

横ばいで推移している。

へき地診療所の医師はへき地拠点病院等によるグループ診療等の方法も駆使しながら確保できている。引き続き安定的なへき地への医師確保体制を維持していくため、へき地診療所へ医師の派遣を希望する市村に対して、自治医科大学卒業医師等を中心とした派遣を行うと共に、併せてへき地拠点病院からの代診医の派遣を実施していく。